

編集後記

建設業界ではいま、同じ建設現場において、1人で複数の作業や工程を遂行する知識や技能を身につけた技能者(多能工)が目立っています。そこで今号では「多能工」を特集しました。取材中、多能工の方の意欲、技術の確かさを目の当たりにしました。しかし、多能工に依存するのではなく、若い後継者が入ってくるよう魅力ある職場にすべく引き続き心掛けなくてはなりません。みんなで頑張りましょう。(M)
今号の現場発見は湯河原町にある最終処分場の再整備工事現場です。現場は山頂付近にあるので晴れた日には海が臨めるのですが、取材当日は霧が立ち込み、雨が降っている状態。インタビューはともかく撮影は厳しいかなと不安に思いながらも、いざ撮影のため現場に向かうと奇跡的に霧が晴れ撮影できる天気。カメラマンの晴れ男っぷりに感謝しつつ、無事に撮影を終えるとまた雨が降り出しました。天候に左右されるなか、工期を守って安全に工事を進めることの苦勞を実感しました。(T)

発行 一般社団法人 日本建設業連合会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館 TEL 03-3553-4095 FAX 03-3551-4954 URL http://www.nikkenren.com/
発行者 有賀長郎
企画・編集 一般社団法人 日本建設業連合会 広報委員会
制作 株式会社Kプロビジョン
デザイン 株式会社コンセント
印刷 株式会社耕文社

©2017 日本建設業連合会 「ACE建設業界」は日本建設業連合会の登録商標です

年間購読料：4,800円(送料込)

「施工者のための電子小黒板導入ガイド」改訂版を作成

日建連の土木工事技術委員会土木情報技術部会は本年10月、「施工者のための電子小黒板導入ガイド」改訂版を作成、公表しました。

電子小黒板は、小黒板に従来記載していた撮影箇所(測点)や工種、種別、略図などを電子化し、撮影時に写し込んで撮影するもので、現場撮影の省力化、省人化および写真整理の大幅な効率化を図ることができます。

国土交通省は本年2月1日以降に入札手続きを行う直轄工事を対象に、電子小黒板の活用開始を発表しました。

土木情報技術部会ではこれを受け建設現場に電子小黒板の普及を促進するため、本年3月に「施工者のための電子小黒板導入ガイド」(以下「導入ガイド」)を公表しました。

導入ガイドは、電子小黒板でできること、工事写真の信憑性の担保、ツールの構成、各ツールやソフトウェア間の互換性(本年1月27日現在)、従来方式との混在、電子納品への対応の6項目に簡潔にまとめています。

今回は、各ツールやソフトウェア間の互換に関するソフトウェアが増えたことから改訂したものです。(本年8月1日時点)

導入ガイド改訂版は下記日建連ホームページからどなたでもダウンロードできますので、ご活用ください。

■ 問い合わせ先
日建連 事務局 木村まで
TEL：03-3551-8812



URL：http://www.nikkenren.com/rss/pdf/1115/denshikokuban.pdf

お知らせ